



ASAHI University News Letter

vol.133

May 2021

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部



朝日大学HP

卒業式・入学式を挙行

それぞれ一人ひとりが抱く「夢」の実現に向かって



2020年度卒業式：希望に満ちた未来に繋がることを願って

卒業の門出を祝う

自分の選んだ未来に向かって

3月12日、2020年度学位記・修了証書・卒業証書授与式が学部・学科等に分かれて行われ、563名（学部生474名、大学院生13名、留学生別科生4名、専門学校生72名）の学生が卒業しました。授与式では、宮田賞、学長賞等も併せて授与されました。

小畠信史経営学部長は、経営学部卒業生に対し、「朝日大学の経営学は、人を幸せにし、自らが幸せになるための学問です。皆さんは、必ず幸せになれます。どうか幸せをつかんでください」と、また、小島孝雄保健医療学部長は、健康スポーツ科学科の卒業生に対して、「皆さんは、本学科の初めての卒業生となります。大学で学んだスポーツと健康に関する知識と技能を生かして、社会の様々な分野において貢献してください」とそれぞれメッセージを贈りました。



大友学長が一人ひとり学位記を授与



式辞（小畠経営学部長）



式辞（小島保健医療学部長）



学位記授与後はステージ上で記念撮影



学位記を手に記念写真

栄えある宮田賞

本大学の創立者である宮田慶三郎の素志により制定された宮田賞は、学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し、本学の名誉を高揚させた者を対象に表彰するものです。受賞者には、宮田淳理事長から表彰状とクリスタルトロフィーが贈呈されました。



宮田理事長が賞状とクリスタルトロフィーを授与

[宮田賞受賞者]

法学部	法学科	柳澤 啓太
経営学部	経営学科	小澤 洋皓
歯学部	歯学科	坂 夏佳
保健医療学部	看護学科 健康スポーツ科学科	石川 真美子 黒島 啓克/太田 匡亮

活躍を称える

学業成績優秀者に贈られる学長賞のほかに、在学中の功績を称え、さまざまな賞が贈られました。

[法学部法学科]

法学部長賞	松崎 道也/松田 恵士/小森 浩史
-------	-------------------

[経営学部経営学科]

学長賞	山本 夢有人/小澤 洋皓/ 服部 佑樹/堀 健太朗/ 長屋 翼/可児 ゆり
-----	---

[保健医療学部看護学科]

(一社)日本私立看護系 大学協会会長表彰	佐々木 瑞季
-------------------------	--------

[保健医療学部健康スポーツ科学科]

保健医療学部長賞	丹羽 敦規
健康スポーツ科学科長賞	矢幡 侑菜

[歯学部歯学科]

歯学部長賞	前田 顯誠
ストローマンジャパン賞	桑原 駿

[歯科衛生士専門学校]

岐阜県知事賞	番匠 亜珠美
日本歯科衛生士会長賞	金山 浩子

YouTubeでLive配信をしました

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、授与式に出席できない保護者向けに、YouTubeを利用してのLive配信を実施しました。



Live配信の様子

HOT TOPICS

未来の自分に成長を誓う

4月2・3日、2021年度入学式が学部・学科等に分かれて行われ、577名（学部生473名、大学院生13名、留学生別科生8名、専門学校生83名）が入学しました。

入学式で、大友克之学長、磯崎篤則専門学校長は「入学許可」の宣言を、各学部の先輩らは「建学の精神を胸にがんばりましょう」とメッセージを贈りました。



一人ひとりに入学記念品の授与



大友学長の入学許可



先輩からのお祝いメッセージ



入学を祝してゲートを設置



入学式に華を添える体育会吹奏楽部

名誉教授称号を授与

本年3月に退職を迎えた萩久保嘉章先生（経営学部経営学科教授）に対して、2021年4月1日付で「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

この度の授与は、本大学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。



萩久保 嘉章 先生

おぎくぼ・よしあき／1954年生まれ。

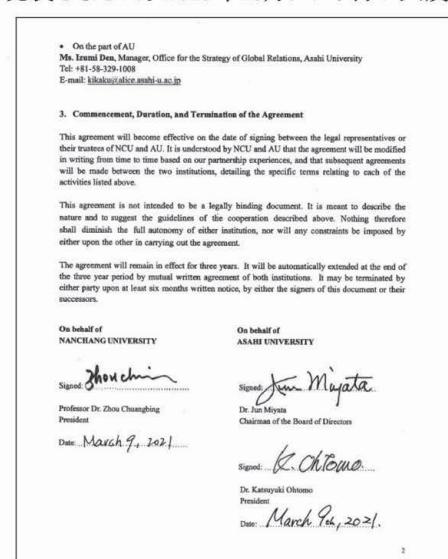
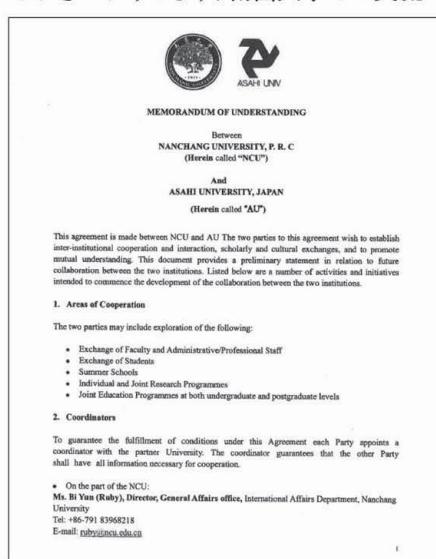
1991年に経営学部情報管理学科の講師として入職。1995年に同学部准教授、2001年に同学部教授に昇任後、2002年・2011年～2013年に経営学科長、2007年～2011年に産業情報研究所所長を務めるなど、30年間にわたり経営学部の発展のため尽力されました。

学術交流協定を締結

3月9日、南昌大学（中国江西省）と学術交流協定を締結しました。

2018年11月に、大友克之学長が岐阜県知事らと岐阜県日中友好協会江西省記念行事（岐阜県は中国江西省と姉妹都市関係）のため南昌市を訪問したことがきっかけとなり、南昌大学との交流へと発展しました。2019年10月には、再び大友学長らが南昌大学を訪問、同じ歯学部を持つ大学として、両国の未来に向けて歯科医学分野での研究及び交流に係る協議会が催され、協定締結の話が進みました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、海外への渡航制限がある中、大友学長が南昌大学の創立100周年記念行事にあたりお祝いのメッセージを送るなど、両大学はコロナ禍でも交流を進め今回の協定締結に至りました。



南昌大学との学術交流協定書

公認会計士試験に合格

難関資格試験を突破

2月16日に、令和2年公認会計士試験（論文式試験）の合格発表があり、9名（2020年3月卒業生2名含む。）が合格しました。

公認会計士試験は短答式試験と論文式試験の2段階で行われます。学生たちは合格率10.1%（出願者13,231名で1,335名合格）の超難関試験である論文式試験に挑み、みごと同試験突破を成し遂げました。

本大学では、2014年からこれまでに、47名の公認会計士試験（論文式試験）合格者を輩出しています。

高大連携による効果

本大学は、岐阜県高等学校商業校長会と簿記会計教育に関する連携協定を結び、高校と大学との7年間で公認会計士試験に合格可能な教育システムを構築しています。



合格を大友克之学長に報告



前列が教員・指導者、後列が合格者

[令和2年公認会計士試験（論文式試験）合格者]

経営学部経営学科4年	可見 ゆり	(岐阜県立東濃実業高等学校卒)
経営学部経営学科3年	松岡 沙樹	(岐阜県立岐阜各務野高等学校卒)
経営学部経営学科3年	中村 好秀	(岐阜県立岐阜商業高等学校卒)
経営学部経営学科3年	大久保 郁斗	(愛知県立豊橋商業高等学校卒)
経営学部経営学科2年	鈴木 京介	(岐阜県立岐阜商業高等学校卒)
経営学部経営学科2年	前田 峻雅	(岐阜県立大垣商業高等学校卒)
経営学部経営学科2年	岩田 彩花	(岐阜市立岐阜商業高等学校卒)
経営学部経営学科(既卒)	亀井 健吾	(岐阜県立岐阜商業高等学校卒)
経営学部経営学科(既卒)	進藤 誠悟	(関市立関商工高等学校卒)

公認会計士とは

公認会計士は、企業の監査と会計を専門分野とする国家資格です。財務書類の監査にとどまらず、企業等に所属して経営戦略の策定や新規上場支援のコンサルティング業務等を行うなど、活躍の場は広がっています。

公認会計士試験の合格状況



会計研究室リニューアル

集中して学習できる環境づくり

体育会会計研究部の部員は、7号館にある会計研究室で公認会計士試験などの難関資格合格を目指して、学修に励んでいます。

昨今のコロナ禍においても、部員たちが集中して学修できる環境を確保するため、研究室の大幅なリニューアルを行いました。

これまでの会計研究室は、仕切りによって5つの部屋に分かれていましたが、この度の改修工事ですべての部屋を繋げて1つの部屋としました。また、照明もLED化、出入口は自動扉へと変更、新型コロナウイルス感染防止対策として、個別の机には、パーテーションを設置しました。



コロナウイルス感染症対策のため設置されたパーテーション



リニューアルした会計研究室（穂積キャンパス7号館内）

歯科医師国家試験、看護師国家試験など合格発表

2021年3月16日に第114回歯科医師国家試験、3月26日には、第110回看護師国家試験、第107回保健師国家試験並びに第30回歯科衛生士国家試験の合格発表がありました。

学生一人ひとりの努力と、教員による個々の学習状況やレベルに応じたきめ細やかなサポート体制により、高い合格率を達成しました。

今後も、本大学では更なる学修活動の充実と国家試験対策の強化に取り組んでいきます。



第114回 歯科医師国家試験

合格率
(新卒) **88.0%**

全国平均(新卒) 80.2%

受験者数 203名(新卒100名、既卒103名)
合格者数 122名(新卒88名、既卒34名)

第30回 歯科衛生士国家試験

合格率 **100%**

全国平均 93.3%

受験者数 72名
合格者数 72名

第110回 看護師国家試験、第107回 保健師国家試験 (2021年3月卒業生全員合格)

第110回 看護師国家試験

合格率
(新卒) **100%**

全国平均(新卒) 95.4%

受験者数 80名(新卒78名、既卒2名)
合格者数 78名(新卒78名、既卒0名)

第107回 保健師国家試験

合格率
(新卒) **100%**

全国平均(新卒) 97.4%

受験者数 13名(新卒13名、既卒0名)
合格者数 13名(新卒13名、既卒0名)



就職活動スタート

コロナ禍での就職戦線

2月4・5日、2022年3月卒業予定者を対象とした「朝日大学就職セミナー」が穂積キャンパス内で実施されました。

未だに新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るつており、就職活動にも大きな影響を与えています。昨年は中止せざるを得なかったこのセミナーには、本大学学生の採用に積極的な100の企業が出展、学生にとって最高のマッチングチャンスとなりました。

学生約210名は、リクルートスーツ姿で企業ブースを訪問。それぞれの企業の魅力を学び、自分に合った仕事を探しました。



企業の説明を受ける学生

OPEN CAMPUS

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催内容の変更や中止することがあります。必ずホームページでご確認ください。

歯学部

6月20日(日) 14:00～16:00
7月25日(日)・8月22日(日) 13:00～16:40
教育内容及び入試説明、実習体験、模擬授業、個別相談などを開催。
歯学部生の一日を体験できます。



法学部・経営学部・保健医療学部

6月20日(日)・7月18日(日)・8月8日(日)
1部 10:00～12:00 2部 14:00～16:00
学部学科説明、模擬授業、入試・奨学金説明、実習体験(保健医療学部)、キャンパス見学などを開催。



街道の歴史・文化を語る

3月6日、東海道や中山道、その連絡路にあたる美濃路、佐屋路などの街道文化を発信する「第4回街道交流会」（主催：東海道町民生活歴史館及びNPO法人生涯学習・健康福祉推進センター、共催：朝日大学）が6号館6201講義室で開催されました。

東海道は57次だった!!

講演では、東海道町民生活歴史館館主、本大学客員教授の志田威氏が「江戸～京・大坂の旅と通信を支えた【東海道57次・中山道67次と美濃路・佐屋路】」と題して、宿場の役割や江戸時代に幕府の公文書を運ぶために設置された継飛脚が、明治初期に機能を引き継ぐ形で郵便取扱所（後の郵便局）となったこと、などについて、また、歌川広重の浮世絵により五十三次だと思われがちな東海道は、大坂までの五十七次であったことを紹介・解説されました。

併せて、宿場や郵便事業の正確な伝承に貢献した2団体と4名が表彰を受け、野田聖子衆議院議員（郵政大臣や総務大臣を歴任）が表彰状を手渡しました。



講演者の志田先生



街道交流会の様子



野田聖子衆議院議員(右)から表彰を受ける

法教育作文コンクール

初等・中等の学校教育と連携し、若年層から岐阜県民のリーガルマインド啓発活動を通じて地域活性化を図り、法教育の推進に寄与することを目的として「第10回法教育作文コンクール」（主催：朝日大学、岐阜法教育研究会）が開催されました。

同コンクールでは、ルールや法教育に関する授業などを受けて感じたこと、学んだことについて募集。小・中・高校生から209件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品がそれぞれ賞を受賞しました。



「岐阜県教育委員会賞」を受賞した今井さん

コロナ禍で考える校則

岐阜県教育委員会賞に選ばれた、今井宏晃さん（岐阜県立岐阜北高等学校）の「コロナ禍で考える校則」は、「校則を変えるにあたっては、校則の意味や目的に立ち返り、多様な観点から検討していくことが大切だと指摘していることがすばらしい」と評価され、最優秀賞の受賞となりました。

受賞者（敬称略、所属と学年は受賞時） (新聞社名は50音順)		
賞	タイトル	氏名
[最優秀賞] 岐阜県教育委員会賞	コロナ禍で考える校則	今井 宏晃 (岐阜県立岐阜北高等学校1年)
岐阜県弁護士会長賞	無知の恐ろしさ	榎間 あみ (白川町立黒川中学校3年)
NHK岐阜放送局賞	夜景の現実	鈴木 柚香 (国立音楽大学附属高等学校2年)
岐阜新聞・岐阜放送賞	ぼくたちをまもるほうりつ	藤井 壮哉 (美濃加茂市立古井小学校1年)
朝日新聞社賞	学んだこと	志萱 由良 (鷺谷中学校3年)
中日新聞社賞	身近な法律	脇田 千景 (鷺谷中学校3年)
毎日新聞社賞	変わっていくルール	藤井 美良 (美濃加茂市立古井小学校3年)
読売新聞社賞	知ることの大切さ	村上 真希 (鹿児島修学館高等学校2年)

全国初導入：医療用コンテナで診察

発熱外来に活用

朝日大学病院(岐阜市橋本町)は、病院西駐車場に発熱外来用の医療用コンテナ診察室を導入設置しました。コンテナは全長6m、幅2.5m、高さ2.8m。コンテナ内部には、診察室が2ブース、エックス線装置、心電計などを設置。今後、発熱患者や新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる患者さんは、同コンテナ内での診察や検査となり、PCR検査と抗原検査ができる陰圧式エアテントも併設されています。

この医療用コンテナは、「コンテナ利用の緊急医療施設議員連盟」の会長である古屋圭司代議士からのご助言を受け、「令和2年度岐阜県新型コロナウイルス感染症院内感染防止対策整備費等補助金」の助成を受けて設置しました。



設置した発熱外来向けの医療用コンテナと陰圧式エアテント



診察をするブース



エックス線装置

ご支援・ご協力への御礼

新型コロナウイルス感染症対策に向けて

新型コロナウイルスによる感染症発生以降、大学、専門学校ならびに3医療機関に対して関係団体、機関、企業様からさまざまご支援・ご協力を賜っております。

世界的にも衛生材料や建築資材などが不足する中でのご支援・ご協力に、心から感謝を申し上げます。

ご寄付いただいた団体・機関・企業様（順不同・敬称略）

花王(株)／花王プロフェッショナル・サービス(株)

(株)リアルGLOBAL／(株)イーストハム

(一社)全日本・食学会(焼肉旬やさいファンボギ)

(株)うを仁(岐阜市)／島崎塗装(株)(※)／カインダストリー(株)

※2020年6月に引き続き2度目の寄付（5月13日調査時点）

これまでご支援・ご協力いただきました団体・機関・企業様につきましては、公式ホームページにて掲載しております。



うを仁様から医療関係者を労ったお弁当をいただきました



医療経営士養成プログラム

3月25日、2020年度朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」の最終講義を行いました。

本プログラムは、(株)大垣共立銀行との産学連携に関する基本協定(2005年3月)に基づき、2018年度から開講しています。

最終講義、閉講式



問題解決の方法について語る坪氏



受講証書を手にする受講生の皆さん

最終講義では、社会医療法人愛仁会本部統括部長の坪茂典氏を講師にお招きして、「医療・介護現場における科学的問題解決へのアプローチ～Withコロナの時代に求められることも含めて～」と題し、ご講演いただきました。坪氏から、問題の本質を読み解くために必要な“問題の視える化と分解”的考え方、問題解決の視点と論理的思考(ロジカルシンキング)について解説をいただきました。

講義後には閉講式が行われ、森下伊三男副学長から受講生一人ひとりに受講証書が手渡されました。

今年度の受講生は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、対面授業とオンデマンド配信を併用して講義が進められ、医療制度や経営戦略など病院経営の基礎を学びました。

TOPICS

創立50周年を迎えて記念植樹

本大学は、1月19日で創立50周年を迎えました。これを記念して、2月25日に創立者である宮田慶三郎先生の胸像前にて記念植樹が行われました。

多くの教職員が参加し、本大学が一層たくましく発展・成長することを祈りつつ、教職員の手により記念の「シダレザクラ」を植樹しました。

宮田淳理事長は、「今年で50周年を迎えました。この木が、新たな50年を迎えるまでに、次の世代に見守られつつ成長して欲しいという思いと、共に本大学が成長・発展する願いを込めてシダレザクラの木を選びました」と挨拶しました。



宮田理事長の挨拶



植樹をする宮田理事長と大友学長



大学の発展を願う教職員

学生食堂「カフェテリア」オープン

4月1日、穂積キャンパス10周年記念館にある学生食堂「カフェテリア」がリニューアルされました。

健康で充実した学生生活を送るために、栄養バランスの取れた理想的な食事が求められます。今回のリニューアルによって、栄養バランスの取れた食事を提供する「セレクトランチ」（ご飯、汁物、主菜・副菜）をはじめ、高速道路サービスエリアなどで流行のフードコートスタイルの「ラーメンコーナー」や「とり天丼コーナー」などが設置され、それぞれの味に拘った出来たての料理を提供します。また、同施設内のレストラン「花水木」もリニューアルとなり、「鉄板ハンバーグランチ」や「鉄板グリルランチ」といった洋食メニューを中心とした食事が提供されます。

学生・教職員のみなさまはもちろん、近隣住民の方々もお気軽に本大学の「カフェテリア」・「花水木」にお越しください!!



リニューアルした「カフェテリア」



栄養満点セレクトランチ



ちょっぴり辛いけど美味しい担々麺